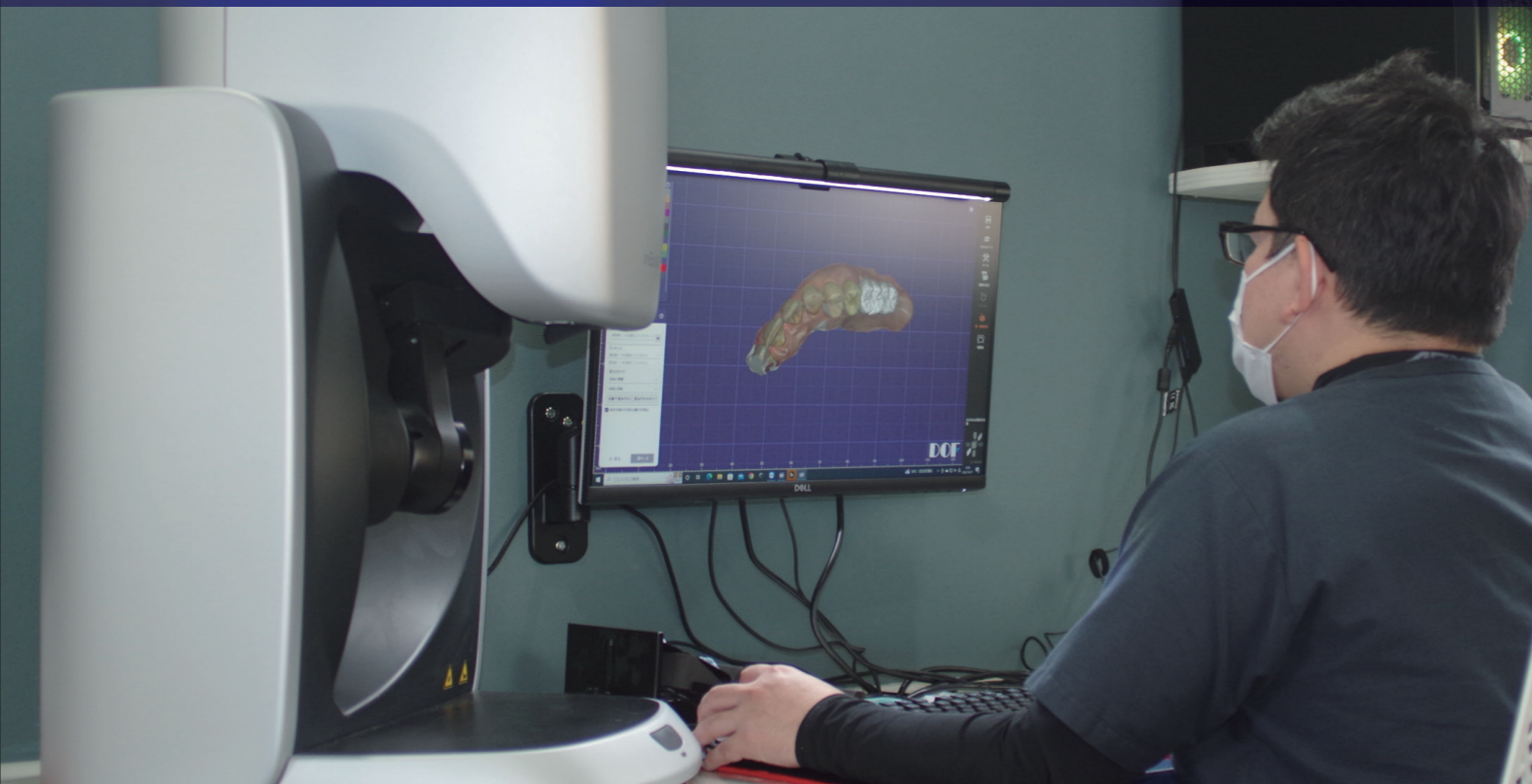


株式会社スカイテックラボラトリー/3Dミリングセンター

〈事業計画名〉新規CAD/CAMシステム導入による、歯科技工物製作の非対面化と高精度・高効率化



デジタル化・技術革新による需要の変化 対応力強化でビジネスモデル転換へ

事業の背景▶▶▶

デジタル化による技術革新

近年、歯科業界においては技術革新が大幅に進んでおり、歯科技工物の製作プロセスも大きく変化している。

歯科技工物を製作する際、患者の「歯型」が必須情報だが、従来は歯科医がアルジネートやシリコンを使って患者から型を採り、石膏模型を製作して歯の大きさや形、歯並びのモデルを作る、という工程が必要だった。

しかし、最近では「光学印象(歯型採り)」、つまり患者の口の中を専用スキャナーで読み取る事で、PC上で口内や歯並びをモデリングし、モデルを作ることなく歯科技工物の設計や製作・加工まで可能になっている。

患者の負担も軽く、模型輸送や模型作り等のリードタイムも大幅に短縮され、近年のコロナ禍で懸念される感染症への接触機会を減らした「非対面式」プロセスの需要は全国で拡大している。加えて、CAD/CAM冠や純チタン製などの保険範囲の拡大、高審美性のジルコニア等、より高度な設備や加工技術の需要も高まると考えられた為、当社は同業他社に先駆けて受注体制を強化する事を計画し、本事業を実施した。

事業の成果▶▶▶

ビジネスモデル転換で営業範囲拡大

本事業においては歯科技工物製作システム一式を更新し、より高精度かつ高効率での加工・製作が可能なる環境を構築。

これにより、データ化による作業者の非対面化、取扱い金属素材の拡大、加工時の精度向上、製作リードタイムの短縮と修正工程の削減が実現した。

特にデータ化による非対面化はビジネスモデル転換に繋がり、営業範囲を奈良県内から全国へ拡大させる事が可能となった。

さらに、取扱い金属素材の拡大(チタンの取扱可能)、製作リードタイム短縮(最大3割減)により、最大受注数の拡大にも繋がり、キャパシティを約1.5-2倍拡大する事が出来た事は非常に大きい成果である。



株式会社スカイテックラボラトリーの概要▶▶▶

技術革新に伴う需要の変化への対応

当社は2014年に創業し、地域密着型の歯科技工士として、奈良県内の歯科医・歯科技工所を顧客とした事業を展開。高度な加工技術を駆使した歯科技工物は、年々拡大する市場において高い評価を得ている。

劇的に変化していく歯科業界のデジタル化の流れに合わせ、顧客の歯科医・歯科技工所との対面が不要な、奈良県内でも数少ない「非対面式」の事業体制を整え、奈良県内に限らず日本全国に営業範囲を拡大している。

当社は今後も業界の流れに乗り遅れる事無く、設備投資による技術力の向上を重視し、他社との差別化を行っていく。



株式会社スカイテックラボラトリーの事業展開▶▶▶

高精度・低価格・短納期・非対面式で対応「3Dミリングセンター」

ビジネスモデル転換により、日本全国へ対応する事が可能になり、当社の加工部門をより分かりやすい形でアピールする為にも「3Dミリングセンター」として、歯科専門のミリング(削る)センターを開設した。

最新の設備を使い、高精度・低価格・短納期・非対面式の事業プロセスを導入。スキャナーデータによる受注を前提とし、製作した歯科技工物は自配ではなく配送業者を利用する為、全国どの都道府県からでも受注が可能である。

当社の窓口としてHPやInstagram等のSNSを介し、全国の歯科医や、特殊加工の外注先を探している歯科技工士・歯科技工所へアピールしていく。



保有設備(一部)	
スキャナー	MEDIT T500(GOLD)
CAD・スキャナー	DENTSPLY inEosX5
CAM	MAXX DS200-4WX
CAM	MAXX DS200-5Z
ジルコニア用焼成炉	DUOTRON PRO S-600

取扱製品	
デジタル技工	CAD/CAM冠/チタンクラウン ジルコニア(フル/レイアリング)
インプラント技工	Nobel Biocare/BIOMET 3i/ STRAUMANN/Zimmer/ ASTAR TECH/DENTSPLY

株式会社スカイテックラボラトリー/3Dミリングセンター

業 種 分 類 医療業
事 業 内 容 歯科技工業

代 表 者 名 代表取締役社長 新形 巨弘
所 在 地 奈良県大和郡山市千日町34-15
連 絡 先 TEL:0743-53-2924/FAX:0743-53-2924
ホームページ <https://3d-milling.net>
E-MAIL skytechslab@yahoo.co.jp